

## 令和 2 年度 千歳市市民評価会議議事録

|     |                               |    |     |
|-----|-------------------------------|----|-----|
| 会議名 | 市民評価会議（第 9 回）                 |    |     |
| 日時  | 令和 3 年 2 月 18 日（火）14：00～16：00 | 場所 | 庁議室 |
| 出席者 | 委員：6 名、アドバイザー：1 名、事務局：3 名     |    |     |

|      |  |
|------|--|
| 会議概要 | <p>次年度「市民行政アセス」における対象施策の選定を行った。</p> <p>また、今年度実施した市民行政アセスの評価結果に対する各担当の対応状況について、委員に報告を行い、意見をうかがった。</p> |
|------|--|

### ヒアリング・評価内容

#### 議 題（1）令和 3 年度「市民行政アセス」について

##### 【事務局】

次年度における対象施策について、事務局にて 展開方針で選定していない施策、 施策を構成する事務事業のうち自主事業の割合が多い施策を抽出しているので参考としていただきたいが、あくまでも委員の皆さんが興味のある施策を選んでいただきたいと考えている。

なお、庁内で来年度の評価施策を募集した際、施策 78「特別支援教育の充実」、施策 89「郷土資料の公開と活用」の教育委員会の 2 施策について応募があったところである。教育委員会については例年 2 施策の評価を行うことになっているが、応募のあった施策に決定するかは本日の会議で決めていただく。

##### 【委員 A】

教育委員会の 2 施策については、両方ともすでに一度評価を行っているが、前回の評価から年数がある程度経過しているというのが主な理由ではないかと考える。

##### 【アドバイザー】

施策 78「特別支援教育の充実」は市独自の様々な取組を行っているものであり、施策 89「郷土資料の公開と活用」については世界遺産登録の候補地になっているキウス周堤墓群に関する施策ということで、担当課としてもこのタイミングで評価を望んでいるということではないか。

##### 【委員 A】

施策 67「治水事業の推進」に興味がある。全国的にも洪水等の問題が頻発している。予算規模も相当大きい施策なのではないか。

##### 【事務局】

予算としては、施策全体の直接経費 3,000 千円程度である。主な河川は国や道が管理しているため、国や道への要望、河川の日常的なパトロールや草刈り、浚渫の実施などが主な事業内容である。

##### 【アドバイザー】

予算規模で考えるなら、施策 70「水道給水の充実」は相当大きいのではないか。

##### 【委員 A】

過去に下水道の施策は評価しているが上水道はしていないはずだ。水道管の維持については全国的な課題になっているので面白いのではないか。

##### 【委員 B】

市民に水を供給するという観点から考えると、特に問題のない施策ではないかという印象を持

っている。

【委員C】

施策 118「勤労者福祉の促進」はどうか。ブラック企業に対する取組などが施策内容なのであれば興味がある。

【委員A】

企業に対する施策というよりは、勤労者に対する施策だと思うが、その当たりの棲み分けも含めて話を聞いても良いと考える。

【委員D】

新型コロナウイルスの影響で大変な部署だと思うが対応できるだろうか。

【委員A】

担当の意見を聞く必要はあると思うが、最初から忖度する必要はないのではないかと。

商業の施策から選ぶのであれば、施策 111「中小企業の経営支援」は自主事業の比率も高く、評価対象としても面白いのではないかと考える。

【委員E】

施策 39「環境学習の推進」、施策 40「環境保全における地域間交流等の推進」は、同じ課であり、内容も近そうなのでまとめて聞いても良いのではないかと。

感染症について興味があるので、関連する施策担当の話を聞いてみたい。

【アドバイザー】

施策 8「感染症予防対策の充実」は予防接種などの内容だと思う。新型コロナウイルス感染症への対応については、保健所が中心になっているのが実態ではないかと。

【委員B】

施策 10「救急医療体制の充実」は、PCR 検査センターもできたばかりなので、話を聞いてみたい。

【委員C】

施策 98「農業の担い手の育成・確保」、施策 99「環境と調和した農業の推進」にも興味がある。

【委員A】

施策 31「市民相談の充実」はどうか。過去に女性相談の施策は評価しているが、また違う内容になる。

【委員B】

施策 21「ひとり親家庭の支援体制の充実」に興味がある。市内にどの程度ひとり親家庭がいるのかどのような実態なのか話を聞いてみたい。

コロナ禍の中で一般的に弱者と言われる人たちが、元の生活を取り戻すには時間が相当かかると思う。そうした方達への行政の取組に対して、何か提言をできればと考えている。

【委員A】

企画部の施策をこれまであまり評価していないという印象がある。施策 119「成熟した市街地の形成」を評価してはどうか。

【アドバイザー】

これまで他の施策について議論する際に何度も都市計画の話が出ているので、一度話を聞いてみたい施策ではある。

【委員D】

商業の分野にも関連する施策であり、話を聞いてみたい。

【アドバイザー】

今回の意見を整理すると、施策 10「救急医療体制の充実」、施策 31「市民相談の充実」、施策 39「環境学習の推進」、施策 40「環境保全における地域間交流等の推進」(内容が近いため合わせて評価)、施策 78「特別支援教育の充実」、施策 89「郷土資料の公開と活用」、施策 98「農業の担い手の育成・確保」、施策 111「中小企業の経営支援」、施策 119「成熟した市街地の形成」の9施

策が令和3年度の対象となるが良いか。

異議なし

## 議 題（２）評価結果に対する各担当の対応状況について

### 施策１ 地域子育て支援の充実

- 意見なし -

### 施策２ 学習機会の充実

#### 【アドバイザー】

意見に対する対応状況の についてだが、現計画においても参加者数は評価指標になっていないので、その点は修正すべきと考える。

市民ニーズの把握を学習に参加した市民からのアンケート結果を基にしているため、事業に参加した一部の市民のニーズをもとに事業運営をしているのではないかと、という指摘をヒアリング時にしていたのだが、その指摘に対する対応を確認したい。

#### 【委員E】

意見に対する答えになっていないという印象を受ける。

#### 【委員B】

対応状況の記載を見直すべきではないか。

#### 【委員A】

記載内容を見直す必要があると考えるので、事務局から担当課に確認すること。

～確認事項に対する担当課からの回答～

委員からの意見と指標の目指すことを踏まえ、まず多くの市民に学習機会を提供し、理解を深めてもらうことが第一だと考えていることから、第7期総合計画における指標を学習事業の参加者数及び理解が深まった人の割合とする予定であり、追跡シートを修正する。

### 施策３ 介護保険事業の充実

- 意見なし -

### 施策４ 観光客の満足度を高める受入れ環境の充実

- 意見なし -

### 施策５ 集荷・物流機能の確保

- 意見なし -

### 施策６ 自然環境保全対策の推進

#### 【アドバイザー】

次期計画における成果指標に参加者満足度を設定することはいかがか。他の施策同様、事業に参加した主体性のある市民がその事業に対しマイナスの評価をすることは少ないのではないかと考える。

～ 確認事項に対する担当課からの回答～

委員からの意見を受け、第7期総合計画における指標を、環境イベントの参加者だけでなく、街頭アンケートや市民アンケート等の回答結果を含めた指標に見直す予定であり、追跡シートを修正する。

#### **施策7 高度技術産業集積地域の形成**

##### **【アドバイザー】**

追跡シートの記載内容は、道央産業振興財団と市の役割分担が明確ではないため、棲み分けについて確認する必要がある。

～ 確認事項に対する担当課からの回答～

追跡シートに道央産業振興財団と市の役割について追記する。

#### **施策8 教育活動の充実**

- 意見なし -

##### **【事務局】**

今回の追跡シートに対する確認事項については、担当課に確認し、後日、報告する。

また、来年度以降については、対応状況の確認を担当課が市民評価会議にて直接説明した方が良いと考えるが、いかがか。

- 異議なし -

# 令和2年度市民行政アセス追跡シート

|      |                   |      |            |
|------|-------------------|------|------------|
| 基本目標 | あったかみのある地域福祉のまち   | 展開方針 | 子育て支援の充実   |
| 施策CD | 100630            | 施策名  | 地域子育て支援の充実 |
| 担当課  | こども福祉部子育て総合支援センター | 関係課  |            |

## 市民行政アセス(市民評価会議)

総評 一次評価については、担当課とのヒアリングを通じて、実施内容・評価内容を確認した結果、妥当であると判断する。

施策内容の方向性 理由及び意見

**維持**

拡充: 事業内容を拡大・充実させる。  
維持: 現在の水準を維持する。  
縮小: 事業を縮小する。

実施コストの方向性

**維持**

重点化: 事務事業のコストの重点化を図る。  
維持: 事務事業のコストは現状を維持する。  
効率化: 事務事業のコストを抑制する。

理由

- ・ 施策に対する各事業はよく実施されており、子育て世帯を地域で支える環境づくりを推進することが重要と考える。
- ・ 転入者に対する情報提供や支援が丁寧に行われており、今後も継続した取組を求める。

意見

- あらゆるツール(SNS等)を利用した相談体制の確立に努めていただき、市民にとって相談しやすい環境を整えて欲しい。
- 施策の実現に向けては、個人情報等の壁があるが、地域と情報を共有する方法など、壁を乗り越える取組が必要である。
- 町内会など地域と協働した子育ての推進を行って欲しい。
- 交通安全や防犯対策など、他の施策と連動した取組が必要である。

## 担当課の対応状況

(意見に対する対応状況)

来年度に向け、SNSの活用も含めたわかりやすい情報提供や、相談しやすい環境整備について検討する。

、 地域との連携については、現在は、各地区の民生委員児童委員が児童館やコミュニティセンターで行う「地域子育てサロン」に対し、子育て総合支援センターが遊具の貸し出しや購入の補助などを行っている。今後、コロナウイルス感染症が落ち着いた後には、地域で行われる各サロンに子育て支援センター職員が出向くなどし、連携をさらに深めたいと考えている。

現状では一例として、危機管理課職員を講師とした家庭の防災講座などを行い好評を得ている。今後についても、多角的な視点で子育て家庭が必要とする支援を考えていきたい。

(評価を受けた感想)

- ・ 子育て世帯や転入者への支援について、これまでも良いサービスの提供に努めているとの自負はあったが、市民評価会議からいただいた、もっと自分たちの行っていることを他の自治体との比較も含め、アピール・自慢した方が良いとの助言は、対外的な説明を行う上での参考になった。
- ・ 事業内容を評価していただいたことを励みに、今後も子育て世帯のニーズに合わせた取組を真摯に続けたい。

# 令和2年度市民行政アクセス追跡シート

|      |                      |      |                |
|------|----------------------|------|----------------|
| 基本目標 | 学びの意欲と豊かな心を育む教育文化のまち | 展開方針 | 社会教育の充実        |
| 施策CD | 400510               | 施策名  | <b>学習機会の充実</b> |
| 担当課  | 教育部生涯学習課             | 関係課  |                |

## 市民行政アクセス(市民評価会議)

**総評** 一次評価については、担当課とのヒアリングを通じて、実施内容・評価内容を確認した結果、妥当であると判断する。

施策内容の方向性 理由及び意見

### 維持

拡充: 事業内容を拡大・充実させる。  
維持: 現在の水準を維持する。  
縮小: 事業を縮小する。

#### 理由

- ・ 施策に対する各事業はよく実施されており、今後も継続することが必要であると考えます。
- ・ 高星大学や大学院の取組は千歳市独自の取組として評価を得ており、継続した事業展開を行って欲しい。

#### 意見

これまで事業に参加したことのない市民に対するアプローチやニーズのキャッチが必要ではないか。同時に、学習機会の充実がなぜ必要なのか、施策を展開する目的を明確にすることも必要である。

実施コストの方向性

### 維持

重点化: 事務事業のコストの重点化を図る。  
維持: 事務事業のコストは現状を維持する。  
効率化: 事務事業のコストを抑制する。

評価の成果指標がセミナー等の参加者を対象としたものであり、限定された市民を対象にしたものであるため、指標の見直しが必要ではないか。

高星大学は、定員に漏れる市民が発生することや2年ごとの入学により学習機会が制限されている実態については、改善が必要である。

健康ポイントのような取組と同様に学習機会に参加した際のポイント制度の導入など、学習機会の向上につながる新たな試みについても検討して欲しい。

学習で得られた知識を社会に発揮するなど、更なる人材育成につながるような、学びを実践につなげる取組が必要である。

## 担当課の対応状況

### (意見に対する対応状況)

学習機会充実の必要性については、令和3年度からの「千歳市第7期総合計画」及び「千歳市教育振興基本計画」において、誰もが変化の激しい社会を自立して豊かな人生を送ることができるよう、学習内容や周知方法を工夫し、様々な世代の多くの市民が事業に参加できるよう努めることとしている。

「千歳市第7期総合計画」の成果指標については、施策の目指すことを踏まえ、まず多くの市民に学習機会を提供し、理解を深めてもらうことが第一だと考えていることから、学習事業の参加者数及び理解が深まった人の割合としている。

高星大学について、近年の申込状況は定員とほぼ同程度となっています。また、組織的な学習機会を提供することを目的としており、学生同士の相互理解や自主的活動を深めるためには2年間の履修が必要と考えますことから、見直しについては考えていない。

学習機会に参加した際のポイント制度の導入については、千歳市教育振興基本計画において学習機会・学習情報・学習成果の評価を一元化・ネットワーク化する「ちとせを学ぶスタンプラリー」を実施し、市民の学習機会の充実に努める。

学んだ成果を地域で生かす活動の取組については、千歳市教育振興基本計画において「ひと・まちづくりリーダーの養成」や「市民の学びを支える人材の育成と活用」など、学びを実践につなげる事業の充実に努める。

### (評価を受けた感想)

・「妥当である」との評価をいただき、これまでの取組が適切であったと再確認できました。社会教育の分野は、新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響もあり、緊急性・重要性が低く捉えられがちですが、コロナ禍で生じる課題に対して学習し、対処する力を得て市民力を高めることは必要不可欠になっていると考える。引き続き、市民が豊かで生きがいのある人生を送ることができるよう学習機会の充実に努める。

# 令和2年度市民行政アセス追跡シート

|      |                 |      |           |
|------|-----------------|------|-----------|
| 基本目標 | あったかみのある地域福祉のまち | 展開方針 | 高齢者福祉の充実  |
| 施策CD | 100430          | 施策名  | 介護保険事業の充実 |
| 担当課  | 保健福祉部高齢者支援課     | 関係課  |           |

## 市民行政アセス(市民評価会議)

|   |   |
|---|---|
| 総評  | 一次評価については、担当課とのヒアリングを通じて、実施内容・評価内容を確認した結果、妥当であると判断する。   |
| 施策内容の方向性  | 理由及び意見  |
| <b>拡 充</b>  | 理由<br><ul style="list-style-type: none"> <li>介護保険事業は、国の基準に従いつつも千歳市独自の展開が必要である。</li> <li>施策を推進するためには福祉人材の確保が重要であると考え、現在の取組以上に福祉人材、専門職確保に向けた取組が必要であることから、拡充すべきである。</li> <li>事業に協力してくれる事業者や市民を増やすことが必要である。</li> <li>地域包括支援センターへの相談件数が増加しており、実態に合った人員配置などが必要である。</li> </ul> |
| 拡充: 事業内容を拡大・充実させる。<br>維持: 現在の水準を維持する。<br>縮小: 事業を縮小する。                 |   |
| 実施コストの方向性   | 意見<br>施策を構成する事業が多岐にわたるにもかかわらず、3つの成果指標で事業の達成度が図られているため、必要な指標を増やし、市民に理解してもらえるようにする必要がある。<br>千歳市としての事業内容の具体性・方向性が見えにくい。<br>委託先との関係性(ガバナンスコントロール)を強化する必要がある。<br>認知症に対する取組は今後重要な事業であるため、地域支援事業で実施する「きずな茶屋」の取組などは回数を増やすとともに、市民の協力を得ながら実施して欲しい。                                |
| <b>重点化</b>  |   |
| 重点化: 事務事業のコストの重点化を図る。<br>維持: 事務事業のコストは現状を維持する。<br>効率化: 事務事業のコストを抑制する。 |   |

## 担当課の対応状況

(意見に対する対応状況)

「成果指標を増やし、市民に理解してもらえるようにする必要がある。」との意見を踏まえ、認知症の方やその家族を支援した実績など、新たな指標の追加を検討する。

「千歳市としての事業内容の具体性・方向性が見えにくい」との意見については、計画期間が平成30年度から令和2年度までの「千歳市高齢者保健福祉計画・第7期千歳市介護保険事業計画」において、法令や国の示した基本方針などに即した具体的施策を示しているところである。現在、計画期間が令和3年度から令和5年度までの「千歳市高齢者福祉計画・第8期千歳市介護保険事業計画」を策定中であり、法令などの改正内容を踏まえるとともに、介護保険料の増額をできるだけ抑制する中で事業内容をさらに検討する。

「委託先との関係性を強化する必要がある」との意見については、これまでも困難事例などが発生した場合、適宜委託先と協議を行うなどしているが、引き続き円滑な業務運営を推進する。

「「きずな茶屋」の回数を増やし、市民の協力を得ながら実施してほしい」との意見については、「きずな茶屋」の実施には、市民の協力が不可欠であることから、今後も継続して取り組みを行い、新型コロナウイルスの収束状況を鑑みながら、回数の増加を検討する。

(評価を受けた感想)

市民評価会議の中で、認知症に関する質問・意見があったことから、これからの認知症施策を推進する上での参考としたい。

# 令和2年度市民行政アセス追跡シート

|      |             |      |                     |
|------|-------------|------|---------------------|
| 基本目標 | 活力ある産業拠点のまち | 展開方針 | 観光の振興               |
| 施策CD | 500920      | 施策名  | 観光客の満足度を高める受入れ環境の充実 |
| 担当課  | 観光スポーツ部観光課  | 関係課  |                     |

## 市民行政アセス(市民評価会議)

総評 一次評価については、担当課とのヒアリングを通じて、実施内容・評価内容を確認した結果、妥当であると判断する。

施策内容の方向性 理由及び意見

### 拡 充

拡充: 事業内容を拡大・充実させる。  
維持: 現在の水準を維持する。  
縮小: 事業を縮小する。

#### 理 由

- ・観光客の目的に応えられるような観光の質の向上に努めて欲しい。
- ・声優や著名人とのコラボなど新たな取組が講じられているが、今後も更なる展開が必要である。
- ・市内の観光施設や観光事業者、工場等の資源を持つ企業と協働したマイクロツーリズムの推進を行い、市民の理解につながる観光事業を実施して欲しい。

実施コストの方向性

### 重点化

重点化: 事務事業のコストの重点化を図る。  
維持: 事務事業のコストは現状を維持する。  
効率化: 事務事業のコストを抑制する。

#### 意 見

- 評価の成果指標の根拠が乏しいため、本施策の効果が把握できる指標にして欲しい。将来的な展望を描くことも重要であるが、観光事業の原点を見据え、観光客の満足度を高められるような受け入れ人材の整備など、地に足を付けた取組をして欲しい。地域文化の観光化など千歳市の資源を活用することは必要だが、地域や当事者と密な調整を行い、実現可能な事業を実施して欲しい。
- 施策の拡充に当たっては、観光事業の推進の先にある売り上げの向上や旅行客単価の向上など、市民にとってメリットが伝わりやすい施策の展開をして欲しい。
- 国際化や商工、教育分野など、他部署との連携を踏まえた取組として欲しい。

## 担当課の対応状況

(意見に対する対応状況)

「観光の質」は多くの要素から成っているため、根拠ある成果指標の設定が困難であるが、観光客満足度調査などを通して随時、足元の確認をしていきたい。

地域文化に関連する事業の実施に当たっては、千歳アイヌ協会や千歳アイヌ文化伝承保存会などの当事者や地域の意見を聞き協議を重ねるとともに、企画部主幹(アイヌ政策推進担当)等関連部署と連携して取り組む。

観光施策の拡充がもたらす経済効果を把握するため、観光消費額(交通費、宿泊費、飲食費、土産代、施設入場料など)を調査することとしているが、現在はコロナ禍により観光客の往来減少の状況にあるため、観光需要の回復状況等を踏まえながら調査・把握に努めていく。

歴史文化、農業、商業、企業、まちづくり、国際交流など様々な分野に関わる観光施策を実施する際には、他部署との連携を踏まえて取り組む。

(評価を受けた感想)

・千歳にゆかりのある著名人による観光PRは認知度が高く、観光施設や特産品等の紹介・情報発信を行うことで、全国の支持者(ファン)を含めた新たな客層の観光誘客につなげることが期待できるため、今後も継続していきたい。

・道民や地元市民が近郊で楽しめるマイクロツーリズムについては、特にコロナ禍においてインバウンド等の急減や感染拡大している都府県との往来自粛などの影響が大きいことから、これを補うものとして取り組んでいるが、今後も観光需要の掘り起こしのため引き続き検討する。



# 令和2年度市民行政アセス追跡シート

|      |             |      |            |
|------|-------------|------|------------|
| 基本目標 | 活力ある産業拠点のまち | 展開方針 | 流通機能の充実    |
| 施策CD | 500810      | 施策名  | 集荷・物流機能の確保 |
| 担当課  | 産業振興部公設卸売市場 | 関係課  |            |

## 市民行政アセス(市民評価会議)

総評 一次評価については、担当課とのヒアリングを通じて、実施内容・評価内容を確認した結果、妥当であると判断する。

施策内容の方向性 理由及び意見

**維持**

理由  
 ・公設市場は、生産者と消費者を守る役割を担っており、市場関係者の信頼性やブランド性を高めることにつながっているため、引き続き本施策の推進が必要である。  
 ・代金決済機能の取組は、生産者にとって迅速に現金収入が得られる機能であり評価できる。

意見  
 市民にとって身近さを感じられる施設になっていないため、市民生活の変化や観光客のニーズが多様化する中で、市場の果たす役割を今一度整理することが必要である。  
 本施策の展開については、今後の市場の将来性を描き、明確な方向性を示すべきである。法改正への取組や運営委員会など、市場運営に関する取組は評価できるが、情報公開がなされていない。  
 市場設備は、食品を取り扱っていることを念頭に置いた衛生環境や労働環境を整えるべきである。

実施コストの方向性

**維持**

重点化:事務事業のコストの重点化を図る。  
 維持:事務事業のコストは現状を維持する。  
 効率化:事務事業のコストを抑制する。

## 担当課の対応状況

### (意見の対応状況)

公設市場では、例年、市民等消費者が日頃訪れる機会の少ない卸売市場を一般開放する市場感謝祭や施設見学の受け入れ、親子料理教室等を開催しているが、今年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、多くの市民が一堂に集まるイベントの開催を見合わせ、新型コロナウイルス感染症による本市経済の影響を緩和する方策として千歳市の観光資源である支笏湖温泉との協同事業(コラボin支笏湖)を実施した。

8月12日から3日間程度、支笏湖温泉旅館組合加盟の5施設において、市場直送の朝もぎたてブロッコリー、スイートコーンなど旬の野菜を工夫を凝らして食事で提供するとともに、市場の紹介や取引方法、活性化事業の取組(市場の日)などをリーフレットによってPRした。

当該施設は、昭和48年2月の開設から、約50年が経過し、建物及び施設全体の老朽化が進行しているため、平成29年6月に決定した「千歳市公設地方卸売市場の今後のあり方」に基づき、市場機能を維持するために必要な修繕等を行いながら、管理運営しているが、今後、市場関係者等の意見を聞きながら、将来展望の検討を進めていく必要があると考えている。

情報公開については、市ホームページや広報ちとせ、地域の情報誌などを活用しながら各種事業や生鮮食品の情報を掲載するなど、市場PRに努めている。本年度は、千歳駅前の多目的メッセージ広告塔に活性化事業の取組(市場の日)を掲載するなど、新たな試みを進めている。今後、ホームページ掲載内容の見直しや随時更新など、市民に分かりやすい情報発信に努め、市民にとって身近さを感じられる施設を目指していく。

衛生環境や労働環境に係る設備については、緊急性や重要性を踏まえ、限られた財源の中で計画的に修繕等を実施している。引き続き、市場関係者の意見を伺いながら、環境整備に努めてまいりたい。

・各トイレに手指消毒剤を導入

・未入居となっている食堂施設を市場関係者の休憩スペースとして開放 R2.10～入居までの間

### (評価を受けた感想)

・公設市場施策の推進や生産者等への代金決済機能について高い評価を頂き、市民にとって市場機能の維持が必要だと再確認できた。

・市民評価会議による「情報公開」や「市場設備」に関する意見から、今後の取り組むべき課題(市場PRや施設の衛生・労働環境の整備)を認識することができた。

# 令和2年度市民行政アセス追跡シート

|      |                |     |             |         |
|------|----------------|-----|-------------|---------|
| 基本目標 | 人と地球にやさしい環境のまち |     | 展開方針        | 自然環境の保全 |
| 施策CD | 200310         | 施策名 | 自然環境保全対策の推進 |         |
| 担当課  | 市民環境部環境課       |     | 関係課         |         |

## 市民行政アセス(市民評価会議)

**総評** 一次評価については、担当課とのヒアリングを通じて、実施内容・評価内容を確認した結果、妥当であると判断する。

**施策内容の方向性** 理由及び意見

**維持**

拡充: 事業内容を拡大・充実させる。  
維持: 現在の水準を維持する。  
縮小: 事業を縮小する。

**理由**

- ・ 本施策は、千歳市の資源である自然環境を守る重要な取組となっており、今後も継続した取組を期待したい。
- ・ 自然環境保全に関する学校教育教材の開発は、教育施策との連携による施策の発展が見込める取組であり評価できる。

**意見**

現状の取組を把握できる成果指標への見直しを検討する必要がある。  
市民にとって環境に関する施策の重要度は増しているため、市民協働の理念を持って施策を展開することで、関心の高まりや行動に繋げて欲しい。  
他施策(環境学習の推進、自然環境保全意識の啓発)と連携した施策の展開が必要であり、今後も各種の施策と連動し、発展的な施策の展開をして欲しい。

**実施コストの方向性**

**維持**

重点化: 事務事業のコストの重点化を図る。  
維持: 事務事業のコストは現状を維持する。  
効率化: 事務事業のコストを抑制する。

## 担当課の対応状況

(意見に対する対応状況)

現状の取組を把握できる成果指標への見直しについては、現状の取り組みを把握できる指標として、次の2つの指標に変更する予定である。

【指標名】自然環境の保全達成度 【内容】環境イベント等で実施するアンケートで「自然環境が保全されている」と回答があった割合

【指標名】自然観察会等参加者満足度 【内容】自然観察会等で実施するアンケートで「自然環境の保全の大切さについて理解し、今後もこの様な行事に参加したい」と回答した割合

市民にとって環境に関する施策の重要度は増しているため、市民協働の理念を持って施策を展開することで、関心の高まりや行動に繋げて欲しいという意見を受け、令和4年度開始の市提案型市民協働事業として協働する団体を募集する。

環境課環境保全係が実施している水質検査業務と連携し、小中学生を対象とした川の水・川の生物を調べる事業の実施、及び教育委員会埋蔵文化財センターと連携し、千歳の自然と昔の人々のくらしをテーマとした事業の実施を検討している。

(評価を受けた感想)

現状の取り組みを把握できる成果指標の見直しや、市民協働の理念を持った施策の展開など、市民評価会議でいただいた意見を参考に今後の事業に活かしていきたい。

# 令和2年度市民行政アセス追跡シート

|      |                   |      |               |
|------|-------------------|------|---------------|
| 基本目標 | 活力ある産業拠点のまち       | 展開方針 | 高度技術産業の集積     |
| 施策CD | 500620            | 施策名  | 高度技術産業集積地域の形成 |
| 担当課  | 産業振興部産業支援室科学技術振興課 | 関係課  |               |

## 市民行政アセス(市民評価会議)

総評 一次評価については、担当課とのヒアリングを通じて、実施内容・評価内容を確認した結果、妥当であると判断する。

施策内容の方向性 理由及び意見

### 維持

拡充：事業内容を拡大・充実させる。  
維持：現在の水準を維持する。

実施コストの方向性

### 維持

重点化：事務事業のコストの重点化を図る。  
維持：事務事業のコストは現状を維持する。  
効率化：事務事業のコストを抑制する。

#### 理由

- 千歳市・苫小牧市・恵庭市・安平町の「高度技術産学連携地域」としての協調性を維持し、高度技術産業の集積に努めていることは評価できる。
- 企業の新製品・新技術の開発活動の支援は重要な取組であり、道央産業振興財団の補助・助成事業が市内企業により毎年活用されていることは評価できる。

#### 意見

評価の成果指標は、千歳市が取り組んだ実態とはなっておらず、千歳市の関与が見えにくい。現状の取組を把握できる数値に見直す必要がある。

助成事業については、助成申請のサポートとともに、助成事業の採択を受けた後の事業効果を追跡し、施策の果たす役割を見出し、企業等に限らず広く市民へのPRに努め、各種の助成事業を獲得し、産業技術の活性化に努めるべきである。

本施策で千歳市は何を目指すのかを明確にするとともに、道央産業振興財団との役割分担を明確にする必要がある。

施策の名称と実施している事業の内容が合致していないため、現状に合わせた施策名称への変更が必要ではないか。

## 担当課の対応状況

### (意見に対する対応状況)

評価の成果指標については、令和3年4月よりスタートする「千歳市第7期総合計画」より、従前の「光科学技術の研究開発拠点の形成」「高度技術産業集積地域の形成」の2施策から「先端科学技術の研究開発拠点と高度技術産業集積地域の形成」の1施策に変更し、その施策において「科学技術に関する研究開発数」「新技術や新製品の研究開発数」の2つを成果指標とすることで、現状の取組を把握できる数値に見直すこととしている。

助成事業については、現在、助成申請のサポートだけでなく、今年度より道央産業振興財団で実施している助成事業完了後のアンケート調査結果を活用し、事業効果の追跡を実施することとしている。なお、助成事業は今年度の募集を終了しているが、今後、募集の際には市のホームページ等を活用して発信し、企業や市民への周知拡大に努めていく。

千歳市の目指すものとしては、公立千歳科学技術大学を活用した産学官連携により、先端科学技術の研究開発拠点を形成し、立地企業の課題解決や産業振興を図るほか、道央産業振興財団を支援することにより、助成事業や研修会を実施し、立地企業の育成や新製品・新技術の開発活動を支援していく。

道央産業振興財団との役割分担については、千歳市は市内企業等の助成事業獲得に向けて、募集時に市のホームページ等を活用し発信・周知拡大に努めることや助成申請のサポートをすることであり、道央産業振興財団は、助成事業を継続し、助成内容については申請する企業等が幅広く活用できるものとするなど、さらなる充実に努めていくことである。

現状に合わせた施策名称への変更については、前述のとおり令和3年4月よりスタートする「千歳市第7期総合計画」において、「先端科学技術の研究開発拠点と高度技術産業集積地域の形成」に施策名称を変更することとしている。

### (評価を受けた感想)

- 市民評価会議委員皆様から、成果指標や助成事業における取組等について、市民目線によるご意見をいただき、今後の取り組みに向けて参考とすることができた。
- 一時評価については「妥当である」との評価をいただいたが、今後も、市民評価会議での意見を参考に、各種助成事業の周知・獲得による産業技術の更なる活性化に努めていく。

# 令和2年度市民行政アセス追跡シート

|      |                      |      |           |
|------|----------------------|------|-----------|
| 基本目標 | 学びの意欲と豊かな心を育む教育文化のまち | 展開方針 | 小中学校教育の充実 |
| 施策CD | 400320               | 施策名  | 教育活動の充実   |
| 担当課  | 教育部学校教育課             | 関係課  |           |

## 市民行政アセス(市民評価会議)

総評 一次評価については、担当課とのヒアリングを通じて、実施内容・評価内容を確認した結果、妥当であると判断する。

施策内容の方向性 理由及び意見

### 拡 充

拡充: 事業内容を拡大・充実させる。  
維持: 現在の水準を維持する。  
縮小: 事業を縮小する。

#### 理 由

・教育活動の安定的な提供が必要であり、事業に関わる教員等への支援はこれまで以上に重要であることから、拡充すべきである。  
・国際化を目指す千歳市としては、国際理解教育支援事業の拡充は重要であり、必要なコストをかけるべきである。

#### 意 見

事業の成果を正しく把握するため、アンケートの集計及び分析方法を見直す必要がある。

実施コストの方向性

### 重点化

重点化: 事務事業のコストの重点化を図る。  
維持: 事務事業のコストは現状を維持する。  
効率化: 事務事業のコストを抑制する。

地域の文化や特色ある学習を今後も展開することが必要である。

教員を含め教育現場への支援が行われているが、今後も継続した支援が必要である。これまで実施してきたICT教育等は、コロナ禍において成果を発揮すべき点であり、今後も他施策と連動した教育活動の充実が重要である。

## 担当課の対応状況

(意見に対する対応状況)

学校評価に関する保護者アンケートの集計及び分析方法の見直しについては、令和2年度より集計方法を見直し、集計から「普通」を除き、「満足」「やや満足」で構成した成果指標とする。

地域の文化や特色ある学習の今後の展開については、特色ある教育活動の積極的な推進並びに児童生徒の健全育成を図ることを目的とした「千歳市アクティブスクール事業」を継続し、引き続き各学校の取組を支援していく。

教育現場への支援については、国際理解教育支援事業を推進するための外国人英語指導助手や英語に堪能な市民講師の派遣、習熟度別少人数指導を実施するための学習支援員の配置、校外学習や課外活動等におけるバスの運行など、様々な学校活動に対する支援を実施しており、今後においても支援を継続していく。

ICT教育等の実施については、これまで電子黒板やデジタル教科書、学習者用コンピュータなどを整備し、ICTを活用した教育を推進しており、コロナ禍においても、引き続きICT環境の整備や情報技術を活用した授業の実践など、ICTを活用した教育活動を推進していく。

(評価を受けた感想)

教育活動の充実について高い評価をいただき、これまでの取組が適切であったと再確認することができた。引き続き取組を継続していくとともに、教育環境の急速な変化に対応するため、子どもたちの「豊かな心」「確かな学力」「健やかな体」のバランスが取れた力を育てる環境づくりに努めていく。